



# みんなで復活させよう 中心市街地

**前橋プラザ元気21  
12月8日オープン**

12月8日(土)、中心市街地の新しい顔「前橋プラザ元気21」がオープンします。平成16年1月に閉店したリヴィン前橋店を公共施設、商業施設、専門学校などの複合施設としてリニューアル。中央公民館の機能を移転し、市民交流プラザや子ども図書館、専門学校なども含めた生涯学習活動の拠点として生まれ変わりました。今回は前橋プラザ元気21を特集で紹介します。問い合わせは、にぎわい観光課 ☎210-2188へ。

## 既存施設を再利用し 経費を大幅に縮減

施設の取得・整備費は、50億円のうち半分以上の約28億円は国からの支援金を活用。市の負担は約22億円です。老朽化の激しい現在の中央公民館を同規模で新築する費用は約30億円。既存施設を再利用することで、経費を大幅に縮減するだけでなく、1・5倍の広さの中央公民館と市民交流プラザや子ども図書館などがある複合施設ができました。また、国のまちづくり交付金を既存施設の改修に適用するのは全国で初めての例で、注目されています。今後は、商業施設や学校施設の賃貸収入や太陽光発電などの省エネ設備を有効に活用し、経費の削減に努めていきます。

## 中心市街地の顔 元気を発信します

1階は、市にぎわい観光課、観光コンベンション協会が入居。にぎわい観光課には、証明サービスコーナーも設置され、年末年始などを除いて土日曜・祝日も午前10時から午後7時まで住民票などを取ることができ、また、広さ514平方メートルにぎわ

いホールを設置。中心市街地の活性化や市民交流につながる催しができるようにになりました。

## 子どもは前橋の宝 遊具も当分無料で

2階は子ども交流プラザ「子どもは前橋の宝」をコンセプトに、子育て世代を応援していきます。子ども図書館は、ワンフロアの施設では、日本最大級。ユニークな書架や森林機関車のオブジェなどを置き、乳幼児から本に親しめます。また、子育てひろばには、プレイルーム、親子元氣ルームが。プレイルームは、海賊船やエアトランポリンなど家族で楽しめる遊具がいっぱい。オープンを記念し、当分の間無料で遊べます。

## 公民館の新たな挑戦 多くの人が集う場に

3階から5階は、中央公民館が移転します。市民の皆さんの生涯学習に対するニーズは年々高まり、今後、中央公民館の利用者はさらに増加すると見込まれます。移転後は、「前橋から世界へ 元氣発信！」を合言葉に、生涯学習活動や文化活動をさらに支援する中核施設に。ドラムやアンプを備えた音楽スタジオやオー

電化の料理実習室、創作活動を楽しむアトリエ、学習室などさまざまな部屋が利用できます。多くの人がつながり、学び、集う場所となるよう、学生、団塊シニア世代、シルバー世代など大歓迎です。また、NPO・ボランティアへの情報提供・各種相談を行う市民活動支援センターも移転します。

## 駐車料金など無料で 利便性を向上

元気21の利用者は、中心市街地の市営駐車場を最大5時間まで無料で使えるなど利用しやすい配慮もしています。また、中央公民館の使用料については減免制度もありますのでお問い合わせください。

## 来春にオープン スーパーや学校

地下1階には市民から要望が多くあった生鮮食品スーパーが入ります。来年3月の開店を目指しています。地下2階には駐車場。仕事帰りでも気軽に立ち寄り買い物ができます。また、6階と7階には医療系の専門学校が入校します。若い世代の人を中心に中心市街地の魅力を知ってもらい、若者でにぎわう街を作ります。

## みんなが一丸になって にぎわいを取り戻そう

今回のオープンは、中央公民館のほか子育て支援、交流、情報発信などの機能を強化し、中心市街地を全市民にとって生活・交流の拠点とすることが目的。前橋プラザ元気21もそれぞれのフロアが一つの建物の中で、相乗効果を出し、総合力が生まれるように運営します。今後は、広瀬川の河畔緑地など周辺の整備を検討し、街全体の回遊性を高めていきます。

中心市街地は、都市機能が集積し、長い歴史の中で文化、伝統をはぐくんだ「街の顔」とも言うべき地域。中心市街地を再生し、にぎわいのある街を作るには、市民の皆さんの協力が不可欠です。前橋プラザ元気21オープンを機会に街に出掛け、県都にふさわしいにぎわいのある街を再生しましょう。

館内の案内については4・5階、催しなどは、6・7階で紹介します。